

ニュース & トピックス

2013年度 北陸電力グループの主な取組みについてお知らせします。

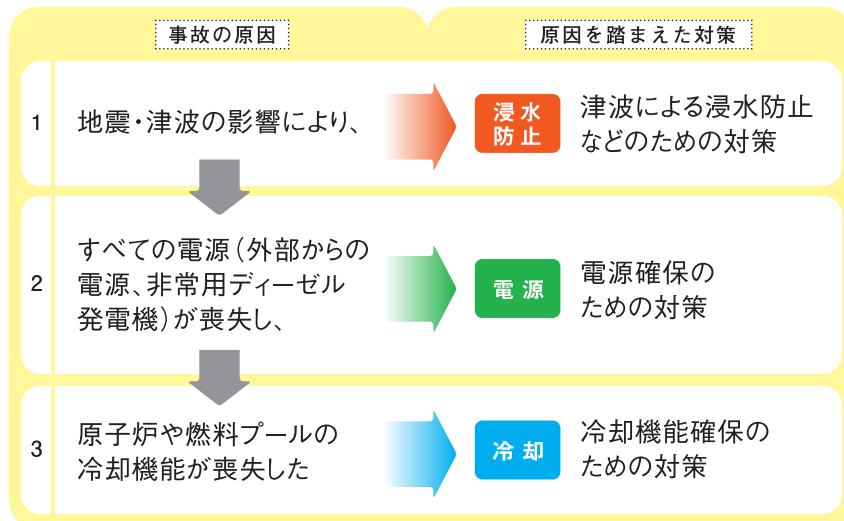
原子力発電の停止による電力需給状況の悪化や燃料費の増加、今後の電力システム改革など激変する経営環境のなか、北陸電力グループは今年度以下の取組みを着実に進め、低廉で良質なエネルギーを安定的にお届けするという社会的使命を果たしつつ、「競争力ある電気事業をコアに総合エネルギー事業を展開し、北陸地域との共存共栄のもと、お客さまをはじめ皆さまから信頼され選択される企業」を目指してまいります。

■ 電力の安定供給を守り抜きます

■ 新安全基準を先取りした志賀原子力発電所の安全強化策の推進

福島第一原子力発電所のような事故を決して起こさないとの強い決意のもと、立地地域の皆さまをはじめ、北陸地域のお客さまにご安心いただくため、シビアアクシデント対策などの新安全基準をクリアするとともに世界最高水準を目指した安全強化策を推進してまいります。

福島第一原子力発電所事故の原因を踏まえたこれまでの主な対策



浸水防止

● 防潮堤の構築



● 取水槽および放水槽まわりへの防潮壁の設置



電源

● 非常用電源（大容量）の配備



大容量の電源車

冷却

● 水源の多様化



大坪川ダムからの取水訓練

その他

● 防災設備・資機材などの強化



建設中の緊急時対策棟

[各種訓練の実施]

大規模災害により電源や冷却機能が喪失した場合などを想定し、日中や夜間、さらに厳冬期などにも、緊急時に的確な対応ができるように継続して訓練に取り組んでいます。これまでに計700回以上の訓練を実施し実効性を確認しています。



消防車による送水訓練



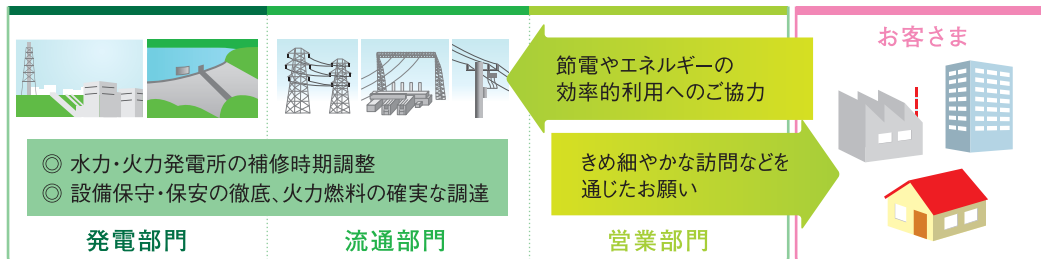
電源喪失時対応訓練

電力の安定供給確保に向けた需給両面の取組み

電力需給安定化に向けた取組み

原子力発電停止以来、供給力の確保に向け可能な限りの対策を講じるとともに、お客さまに節電・省エネをお願いし、ご協力いただくことにより、安定供給を確保しています。

引き続き、電力需給安定化に向けて、グループ一丸となって取り組んでまいります。



北陸電力グループ各事業所における省エネの徹底・強化

更なる効率化に挑戦し、競争力を高めていきます

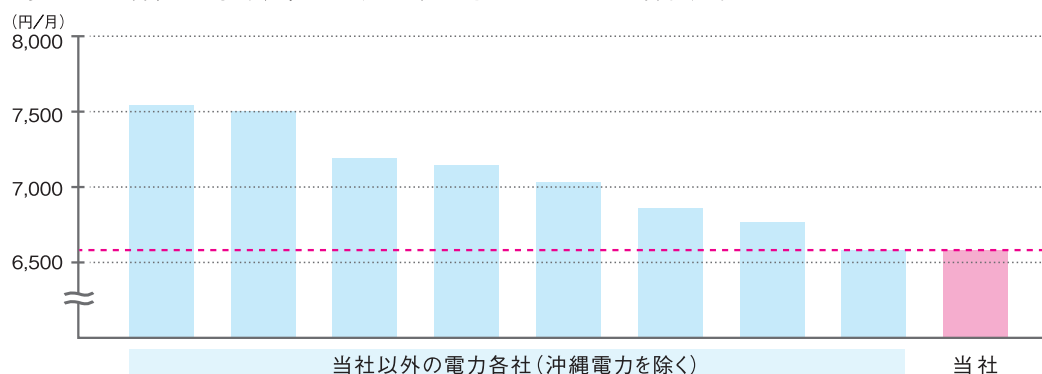
・2012年度は、8月に社長を本部長とする『2012緊急経営対策本部』を設置し、あらゆる分野に関して、組織・部門・グループの垣根を越えた徹底的な効率化に一丸となって取り組んでまいりました。

[2012年度経営効率化の見通し]

	金額	内容
緊急経営対策本部などのコスト削減の取組み	55億円	・賞与など人件費の削減、更なる精査による諸経費の抑制 等
火力発電所定期検査の工程・内容の効率化	80億円	・石炭火力発電所の定期検査時期の見直し ・24時間体制での点検による工程短縮
卸電力取引所の活用	45億円	・卸電力取引所への供給余力を最大限活用した販売 等
合計	180億円	

・2013年度は、これまでの取組みを継続するとともに、更なる効率化を実施することで、2012年度の経営効率化額を上回るコスト低減に取り組んでまいります。

<参考：電気料金水準> 従量電灯の平均的なモデルによる各社比較



【2013年3月分】
当社試算値

<前提条件>

- ・基本料金制の場合：従量電灯B、契約30A、使用量300kWh/月
- ・最低料金制の場合：従量電灯A、使用量300kWh/月
- ・初回口座振替割引額、太陽光発電促進付加金、再生可能エネルギー発電促進賦課金、燃料費調整額および消費税等相当額を含む

●詳細については当社ホームページに掲載しております。 <http://www.rikuden.co.jp/koritsu/>